

京都中小企業技術大賞とは

『京都中小企業技術大賞』は、平安遷都1200年(平成5年)を記念し設置された制度で、技術開発に成果を挙げ、京都産業の成長に貢献した中小企業及び技術者の功績を讃えることを目的としています。

この受賞をきっかけにその後上場したり、他の表彰制度で受賞や認定につながるケースがあり、本事業が企業成長・発展の後押しとなっています。

情報誌等での特集記事の掲載など

受賞企業は、テレビ局や新聞社等様々な媒体にも取り上げられています



京都新聞・毎日新聞・産経新聞・日刊工業新聞・KBS京都

「詳しくは、ホームページをご覧ください」

https://www.ki21.jp/improvement/techno_prize/





こんな企業の応募を待っています

他社がマネできないオンリーワン技術がある



独自の加工技術や生産技術で高い品質を実現している

伝統技術の応用工夫で新たな価値を生み出している



最新の情報通信等、先端技術を駆使している

最近の受賞企業とその技術・製品

令和2年度	技術大賞	(株)大日本精機	組織切片自動作製装置「AS-410M」
	優秀技術賞	京都機械工具(株)	工具とIoTの融合による「次世代作業トレーサビリティシステム」
		国産部品工業(株)	ダイレクトシールド構造ヒートインシュレータ
		(有) 緑巧	大型環状繊維による新組織の開発
特別技術賞	(株)サンエムカラー	超高精細印刷「燦・エクセル・アート(印刷の8K)®」	
	サンプラスチェックス(株)	Roll to IML容器製造技術および検査装置の開発	
	(株)服部製作所	粉体、軽比重物用異物除去装置	
		篠春織物(株)	丹後強撚糸を使用した丹後先染め着尺、風通帯

 (株)大日本精機	 京都機械工具(株)	 国産部品工業(株)	 (有) 緑巧
 (株)サンエムカラー 燦・エクセル・アート (印刷の8K)®	 サンプラスチェックス(株)	 (株)服部製作所	 篠春織物(株)

令和元年度	技術大賞	日産スチール工業(株)	鮮度保持フィルム「Freshmama」
	優秀技術賞	(株)ウィル	超微細精密金属加工技術を駆使した半導体検査用プローブ
		(株)京スパ	連続成形スパイラル製造における金型の開発
		(株)扶桑プレシジョン	画像データオリジナル性証明システム「FAMINOS」
		マイクロシグナル(株)	シールド内蔵低容量ドット受光IC
ワイエムシステムズ(株)	カラー豆類外観検査装置DrBean AI手選りさん		
特別技術賞	伸栄(株)	超音波加工機による抹茶用石臼加工技術	

表彰の種類

京都中小企業技術大賞	1企業
京都中小企業優秀技術賞	4~6企業
京都中小企業特別技術賞	1企業
京都中小企業優秀技術者賞	1企業5人以内



令和2年度受賞企業代表者



京都府知事による表彰状



財団理事長による表彰書

審査基準

- ① 独創性のある技術又は製品であること
- ② 時宜に適し、かつ優秀な技術又は製品であること
- ③ 優秀な技術・製品を保有するなど、研究開発に積極的であること
- ④ 健全な経営により、企業の成長発展が顕著に認められ、将来性があること
- ⑤ 京都産業の振興発展に貢献するなど他の中小企業の模範であること

応募資格

以下の各項に該当するものを対象とします。

- ① 京都府内に本社を置く中小企業であること
- ② 対象となる技術又は製品に売上実績があること
- ③ 対象となる技術又は製品に他の特許等を侵害していないこと、又は係争中でないこと



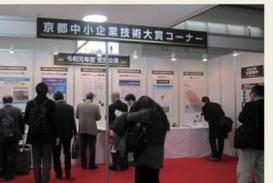
京都産業21 村田理事長



京都府 山下副知事



表彰式での受賞企業
プレゼンテーション



京都ビジネス交流フェアでの受賞企業広報支援